

文芸 さくらがわ

俳句

〔桜川市岩瀬「秋」俳句会〕

娘の病気に病む妻の大吐息

小林 啓治

紫陽花の小道登りて仁王門

萩原 勲彦

夕風にのり蝸の声澄めり

三代 みちよ

どしゃぶりの葉裏にじつと蝸牛

入山 ひろ子

青桐の大葉が舞ふ日秋に入る

若色 寿美女

平凡な暮しの中の紅葉狩

金田 とう女

挨拶をすべきか否かサングラス

細谷 充女

正直に生きて文字摺草千の風

永瀬 ちい

草の香も汗の臭ひも吾が五感

齋藤 みよ

南口降りればそこは秋の風

渡辺 千恵子

三本の指の確かさ秋葉播く

萩原 きのの

〔茂山俳句会〕

瓦師の愚痴を言いつつ三尺寝

植田 祥雲

地球儀のブラジル探す夕薄暮

吉原 京子

自動ドア炎昼の中人を吐く

吉原 秀子

かなかなや香焚き添へる茶室かな

君島 真理子

梅干して星の雫を貰ひけり

竹林 てる

滴りに次の一語を待つ思ひ

鈴木 つぎ

しつかりと子を抱くやうに西瓜抱く

松崎 いま

短歌

〔桜川歌壇の会〕

ふるさとの駅を出るなり帰省せし人ら祭りの

黒田 青磁

足取りとなる

黒田 青磁

老ゆるとも人恋う心変わらざりどしや降る雨

田沼 むめ

庭隅のノウゼンカヅラ燃えるが大輪の花地

篠崎 洋子

面を染める

篠崎 洋子

仏壇の供花うなだるる酷暑かな

宮本 芳江

ふるさとは同姓ばかり送り盆

金子 弘毅

紫陽花や歓喜の雨に揺れ止まず

今井 繁子

己が影つついてをりぬ羽抜鶏

泉 健作

炎天下無人のやうな片田舎

宮本 立男

峰寺の祀る巨岩や苔の花

皆川 一女

山間に畑を守りて生身魂

鈴木 ノブ子

毀つ家に人寄せつけず草いきれ

海老沢 静夫

風鈴の音色に和む昼さがり

大関 くに

加波筑波湯に入ることし夏の霧

笠倉 陽子

もてあます風によるめく黒揚羽

田崎 信子

投葉にむせる身のあり草いきれ

海老沢 幸子

銅の月おしあげし草いきれ

飯山 昭

俚謡

〔やぐら俚謡会〕

高期高齢会員達が若気紅差す敬老会

岩瀬 悦女

御霊送って秋風吹けば明日が忙しい待つ稲穂

つく志 輝美

昼の暑さも蝸鳴けば汗も乾いて秋の月

一木 みどり

お多福女房もたまには化けて影もピンクになる障子

稲葉 建正

議員候補の意欲に込え夢を托した我が一票

田 哲人

久々に子猫をたのむと従弟より一人暮らしに
ホットな頼り
中原 すみ子

雨の日はアジサイ園は賑わえり傘と花とが彩
り競う
篠崎 貞之

白内障進行したと医師は言う「手術はせずに
現状維持」と
中澤 敬子

NHK入選集の本ありて嬉しくなりて皆に報告
榎戸 栄子

遅咲きの花にも似たる鶯の夏の盛りをケキョ
ケキョと鳴く
滝田 きく江

木々の芽は彩り違え山萌える街道つじ赤く
群れ咲く
平塚 節子

狭き庭四葩にまかせその彩にまみれし夢の眼
りにつかむ
島 杜桃

雲一つなきさいはての秋空に描いてみだし心
の絵画
皆川 米子

とびた歯科クリニック

▼診察時間 来院前に、必ずご連絡ください。

曜日	月	火	水	木	金	土	日
時間							
9:30~12:30 (受付は12:00まで)	○	○	休	○	○	9:30 12:30	休
14:30~19:00 (受付は18:30まで)	○	○	休	○	○	休	休

※祝日のある週は、水曜診察致します。

とびた歯科クリニック

古橋伸夫税理士事務所

TKC

～お客さまに豊かさと繁栄を～

桜川市真壁町桜井765-2

TEL 0296-54-1540

Homepage <http://www.furuhashikaikei.com>